

保育おおさか

平成19年2月1日 第378号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

第32回 保育海外研修 IN オーストラリア

国境越えても 子どもへの情熱は同じ

第32回保育海外研修(団長/熊井茂治千里山やまで学園園長)は1月12日(金)〜17日(水)の6日間、総勢50人でオーストラリア・シドニーの3施設(シドニーパークチャイルドケアセンター/ローズベリーチャイルドケアセンター/ゴウリーチャイルドケアセンター)を4班に分かれ訪問した。晴れ渡る夏の空のもとで、日本とは違う保育環境に触れ大いに学び、子どもたちと笑顔いっぱい交流し、充実できた研修となった。

アットホームな環境

シドニーパークチャイルドケアセンターは、7年前に住宅街の中にあるマンションで開設され、託児所のようなアットホームな保育園だった。マンションの一室にあるため敷地は狭く、0〜2歳児の部屋と、3〜5歳児の部屋と2つのルームに分かれており、保育室内の環境構成は日本と似ているところが多いと感じた。

現在、子どもの在籍数は39人で、日本と同じ保育に欠ける子どもが優先的に入所できる。子どもの人数が少ないため、保育士も目が行き届き、のんびりした環境で過しており、行事もほとんど行われず、保育士や子どもたちが行事に追われることもないようだった。

看護師がいなかったため、保育士全員が人命救助の資格をもっていることや、成長の記録には毎日一人ひとり写真入りのコメントを貼り付け、子どもが7歳になるまで保管していることなど、その取り組みに刺激を受けた。



オペラハウスをバックに「ハイ、チーズ。」

来客者が子どもの写真を撮ることができなかったり、人種が多いため基本は英語を使用しているが英語も話せない子どものために、ジェスチャーなども多く取り入れ対応していることなど、オーストラリアの特徴もうかがえた。

個性を伸ばす ことを大切に

住宅街の中で、こじんまりと、落ち着いた雰囲気があるローズベリーチャイルドケアセンターは、ロングゲアセンターと呼ばれる、6週〜5歳児までの子どもたちが通う保育園で、現在、様々な人種約40人の子どもたちが通っていた。国家保育協議会では、充実した保育をするとノミネートされており、待機児童も多く、人気が高きもうかがえた。

子どもたちの個性を伸ばすことを大切に保育されており、設定をつめこむのではなく、子ども自身が好きなことを見つけて自由に遊び、のびのびと過ごすことができるよう工夫されているのが印象的だった。

登園時に、子どもたちが各家庭から一つずつ果物を持ち寄っておやつとして食べることや、アレルギー食や宗教食にも対応されている給食、お誕生日会ではお誕生児である子どもの親がケーキを持ってくるなど、様々な



いつの世にも言われていることのひとつに「近頃の若者の言葉づかいはどうなっているか」という話がある。

間違っているとされている言葉づかいがいつの間にか支持を得て広辞苑にも載るようになる。これが、時代の流れというものか。

子どもの心を常に気にかけて、子どもも目線に立ち、話し、聞くことができる親や保育者は話のキャッチボールが上手い。

親の乱暴な声かけの中で育つ子どもの姿をみるとこちらまで悲しくなってしまう。

その昔、日本では言葉といつて言葉には不思議な霊力が宿っていると信じられていた。

話し手は言葉づかいに細心の注意を払ったという。

大人の何気ない一言が子どもの心をつまずかせることの無いよう、心の対話が出来る保育者でありたいと常に願う。

な面から個々を大切にす
る姿勢が感じられた。

献立は親に配布しない
で、1週間毎のメニュー
を玄関に提示し、随時イ
ンターネットでも公開。

保育料が日本と比べて高
いように思われたが、毎
年6月末に納めた保育料
の30%が自己申告により
戻ってくる制度が設けら
れていた。また、資格が
なくても保育士として働
けることやピーナツパ
ターが州より禁止されて
いることなど、日本との
違いに驚いた。

自由に選択

閑静な住宅地の中にあ
るゴウリーチャイルドケ
アセンターは、緑に囲ま
れた広い敷地で建てられ



光いっぱい明るい室内

ていた。この地区には団
地があり、その家族のた
めに1940年に設立し、
健康管理とケアを目的と

していた。1980年代
に入り、多民族の移住に
より、文化や教育にも重



自由に遊ぶ園庭

点をおき、低所得者やサ
ポートが必要な人のため
に、フリースクールとし
て小学生の受け入れも始
めた。近年ではオースト
リアの特徴でもある多
民族国家に適した施設と
なることを目標とし、差
別をなくすこと、家族へ
のサポートなどを最重要
課題としている。また、
先住民アボリジニに対す
る敬意から、クラスの名
前はアボリジニの言葉か
らつけられており、差別
のない保育に重点がおか
れている姿がみられた。

利益を目的としない

(NPO団体)経営方針
で、ボランティアも多く、

「歴史とともにケアやサ
ポートの内容は変わって
いきますが、ここで働い
ている人たちの熱意は変

わりません。」と話され
た言葉に胸が熱くなった。
2年に1回700項目の
評価を受け、その結果を
グラフにして保護者に掲
示しており、グラフを見
るとかなり良い評価であっ
た。待機児も400人と
聞き、人気の高い保育園
であることがわかる。

るようになっていた。ま
た、設定保育については
自由遊びが主であり室内
はコーナーで区切られて
いた。各部屋にある園庭
では色々な遊具がすぐ
に出せるよう配置されてお
り、どの場面でも個人の
選択を尊重していること
が感じられた。

◇

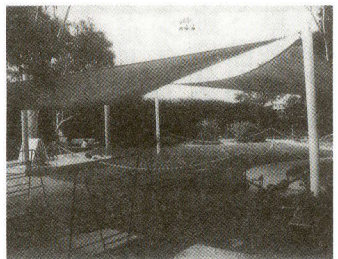
現在、68人の子どもた
ちが通園しており、人間
としてのレベルアップの
ためのプログラムを考え
個人の選択を重視してい
た。子どもたちは食・寝・
遊の生活の流れを自由に
選んでいるのが印象的で、
ゆとりをもった保育士の
人数でのんびりと過ごし
ている様子がうかがえた。
各年齢ごとの部屋にはキッ
チンがあり、モーニング
ティーなど食べたいとき
に食べれるようになって
おり、ランチメニューも
子ども自身が種類を選べ

日本からおみやげとし
て、ぶんぶんゴマや、ピョ
ンピョンカエルなどを持
参し、折り紙の折り方を
英語に訳して、千代紙や
折り紙と一緒にプレゼン
トした。それぞれの訪問
先から大変喜ばれ、子ど
もたちも興味津々の眼差
しで、参加者と一緒に遊
び、楽しい一時をもつこ
とができた。

3施設ともに共通して

見られたのが、ゆったり
とした環境で個人の尊重
を重視していたこと。ま

た、紫外線対策がはから
れていたのもオーストラ
リアならではのことであっ
た。国や習慣が違っても、



紫外線対策の日よけ

日々学ぶ努力や、子ども
たちに対する情熱、保育
の本質は変わることがな
いと実感し、有意義な研
修となった。(記録係)

参加者名簿 (敬称略)

千里山やまて学園	熊井 茂治	泉北花園保育園	作花ツヤ子
千里山やまて学園	熊井 桂子	泉北若竹保育園	野神 千晶
明の守保育園	門谷 一希	大仙保育園	宇都宮佳保里
旭ヶ丘学園	石黒 裕子	たちばな保育園	波多野直子
旭ヶ丘学園	久保田 宏美	たんばな威保園	川東 真弓
旭ヶ丘学園	田畑 真由美	たんばな威保園	藤井 直美
旭ヶ丘学園	岡 紋子	智鳥保育園	牛谷 照代
旭ヶ丘学園	谷 裕美子	智鳥保育園	野口 紀子
あすか保育園	村瀬 由香里	ドリム保育園	島田 綾子
あすか保育園	辻本 ひとみ	初芝保育園	燃脇 めぐみ
池上わが保育園	辻 めぐみ	初芝保育園	高槻 ひとみ
石津川保育園	谷 俊江	浜寺保育園	郷田 美穂
石津川保育園	山内 節子	晴美台保育園	島名 由紀代
泉佐野まひる保育園	増岡 直美	古川 園	安地 三三
貝塚中央保育園	筆谷 直美	古川 園	大笹 さよこ
貝塚中央保育園	川崎 利衣子	文化保育園	美濃谷 智子
くすのき保育園	田中 亜矢	文化保育園	里中 雅美
常盤寺隣保館保育園	今西 康博	文化保育園	山田 須賀代
新堂保育園	井上 令菜	文化保育園	杉本 美弥子
新堂保育園	越智 和美	文化保育園	永野 貴美香
善根寺保育園	竹内 幸子	文化保育園	加藤 雅美
善根寺保育園	橋詰 昌子	文化保育園	妙中 貴子
善根寺保育園	橋詰 貴規	文化保育園	北川 裕美
泉北花園保育園	森田 恵美子		

平成19年 新年互例会



1月
23日
ホ
テル日
航大阪

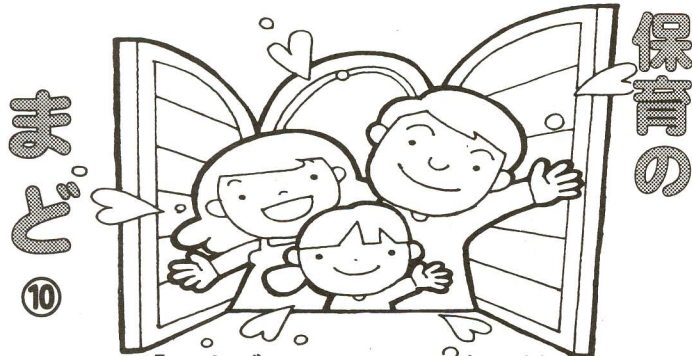
において、保育部会新年
互例会が開かれ、行政か
らは大阪府、堺市、高槻
市、東大阪市、府議会か
らは北川議長を始め保育
に関係の深い7人の議員
のご出席を頂いた。
育児相談員養成研修を
修了した33人に「認定書」
を交付され、代表で聖愛
保育園の田中扶美さんが
水本室長から授与された。
意見交換会では、永野会
長が保育園として社会貢
献事業に取り組んでいき
たいと、高岡顧問から、
社会福祉法人のあり方と
社会貢献事業について講
演を頂いた。行政の報告
後、各ブロック長などが
意見があり、終了となっ
た。



(カッコよくポーズ)



(田んぼでゴー)



「河内ブロック」千早赤阪村

流行事と園外保育を多く取り入れています。

4月、お花見会、園庭に桜の花が満開となるときに、地域のお年よりや未就園児を招待して、お琴の演奏と園児による和太鼓などの発表で、楽し

7月には、地域の民生児童委員の方々のボランティアにより、七夕まつりと交流会、田んぼを使つてのどろんこ遊びも恒例になっています。夏祭りも地域とのかかわりにおいて大切な行事です。夏休

12月には、未就園児を招待して、お餅つき大会。年間を通じて、地域との関わりを大切に、行事などを行っていると同時に、未就園児たちへの遊びの提供もさせていただいて

地域の関わり大切に

千早赤阪村の唯一の民間保育園として創立当初から地域との関わりが深く、自然に恵まれた環境であることから、丈夫な身体・豊かな心を育むことを目的に、地域との交

んでいただきます。25日は千早赤阪村で誕生され、戦国時代の武将として名を残す、楠木正成公の生誕を祈念して行われる楠公祭に、和太鼓の奉納もさせて頂いています。

11月には、千早赤阪村社会福祉協議会による障害者スポーツ大会への参加と、お昼のアトラクションに和太鼓を発表しています。

今後は、地域の特性を生かし、野菜、果物などを積極的に給食にも取り入れ、地域における子育て、乳幼児教育において役立っていくこと。

世代間交流の大切なコミュニティの場所としての役割も果たしていければと考えております。

(げんき保育園)

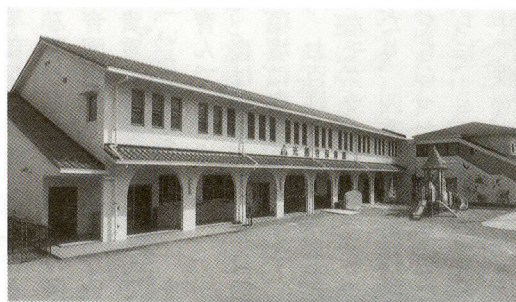
北大阪 光善寺 保育園 老朽改築を終えて

3年前に一級建築士に新園舎の図面をお願いして試行錯誤の上、平成18

年・19年度の2か年事業として増改築工事をする事になりました。

旧園舎で保育をしながら園庭があった所に新園舎を建てるということで工事現場はもとより、特に保育園で事故が起こらないように気を遣つての工事となりました。

現場監督さんの配慮で工事現場と保育園の間を仕切る塀の一部を透明にして下さり、園の職員だけでなく保護者の方も、



ツバメがくる園舎

毎日、そこから工事の様子を見て新園舎の完成を楽しみにされていました。

子どもたちは、大型のクレーン車やユンボ、ミキサー車などを見ては喜び「おしちゃん何してるの?」と声をかけたり工事現場を見ながら新園舎の完成を待ちました。

工事現場からも窓越しに手を振って赤ちゃんに微笑みかけて下さったり、塀と落下防止ネットの隙間から入ったボールや

「明日天気になーれ」と蹴って工事現場に入った靴を園庭に戻して下さったり、子どもたちの仕様に面倒がらずに答えて下さり「子どもは元気が一番、叱らんと遊ばせや」という言葉に安堵したこともありました。

工事関係者や近隣の方皆様に支えられ、見守られた老朽改築工事でした。

毎日の営みの中で園舎の完成、引っ越し、そして旧園舎の解体と続き、

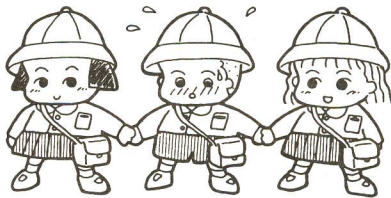
全てが完成して4か月余り、定員も増え、園舎での生活にも慣れ、工事が遙か昔のことのように思われます。

今後は地域開放の充実、保幼小の連携、産休、育休明けの子どもたち受け入れの充実、学童も含めた延長保育の充実など課題はたくさんありますが、地域の子どもたちの保育園となるように職員とともに頑張っていきたいと思っています。

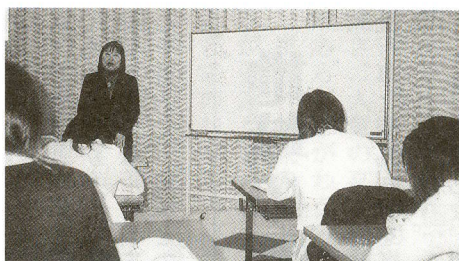
ブロックだより

東大阪私立保育会は1月15日、東大阪市民会館で28か園56人の参加で、保育士研修が催された。

河内(東大阪) 保育士研修会



自分がスキ♡
みんなが大好き
そんな子どもに



熱心に聞く研修生

講師は佛教大学の丸山美和子助教授で、「子どもの発達のみちすじと保育の課題」と題し、12月の「乳児期」に続く2回

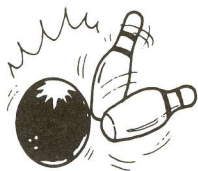
目「幼児期」3〜5歳児の特徴と事例について学んだ。

この時期の子どもに何を大切にすべきかを考えた関わり方、「就学前に育てておきたい力」学習面では「学ぶ為の土台作り」。

生活面では「けじめのある生活と自分で考えられる子、自己肯定感のある子にする」など保育の重点がわかりやすい研修で病み上りを感じさせない講師の英気が満ちていた。(むぎの穂保育園)

河内保育士ボーリング大会

八尾 みんなで ナイス・ストライク

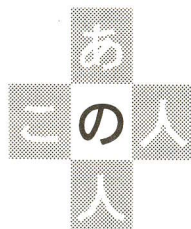


八尾私立保育連盟・八尾保育士会主催で、保育士ボーリング大会を行いました。18か園の私立園から、4人ずつの保育士が参加し、熱戦を繰り広げました。以前は各園対抗戦で



先日の新年互例会において、新たに33名の先生が育児相談員の認定書が交付されました。

この育児相談員の研修会は、昭和59年5月からの「でんわ育児相談」が前身で平成3年度「初級研修」が始まり平成10年度に現在の大阪府の認定書が交付される研修となりました。



その間20年以上にわたり、ご指導いただいておりますスパーバイザー西田晃先生が今年で喜寿を迎えられます。一年間通して30日以上上の研修日程をこなすには、バイタリティーと熱い想いが無ければ出来ないものです。益々お元気で今後もご指導いただきますようお願いいたします。

保育園をたずねて

347

枚方市

第2 長尾保育園

第2長尾保育園は、昭和60年に社会福祉法人長尾会の2つ目の保育園として設立されました。保育園の近くには(小・中)学校、高校と、老人施設があり、盛んに交流を行っています。老人施設の交流では、お年寄りとは折り紙を折ったり、ちらし寿司を作ったり食べたり楽しく一緒に活動をしています。核家族の中で育っている子どもたちが普段の保育園生活では味わえない貴重な経験をすることで「いたわりの気持ち」を育んでいきます。

うれしい笑顔



裏は田畑が広がり自然環境に恵まれています。お百姓さんから、生きたモグラを見せてもらったり、四季折々の農作物をもらったりと子どもたちにも、とてもよい環境の中で保育が行なわれています。

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勝
編集 永 水

したが、親睦のため、ここ数年は、各園混合チームの編成で園長も全員参加で、若い熱気に負けじと応援しました。2ゲーム終了後は、軽食を取りながら、お楽しみ成績発表と景品授与。日頃の保育の疲れも忘れて、楽しいひと時でした。(五月橋保育園)